

「歴史と文化のまち彦根をギャンブル施設から守ろう」の声ひろがる

良識の世論を結集し、署名行動が進む

新聞折り込みに大きな反響！

2月25日、「歴史と文化のまち彦根をギャンブルから守りましょう！」と題するチラシを朝刊に折り込み各家庭に配布しました。これは原団地自治会、原町西団地自治会、西沼波東部自治会、湖上平地蔵町自治会などがチラシ5万枚を印刷し、毎日、朝日、読売、中日、京都、産経の各紙に折り込んだものです。

馬券売場推進派のチラシが折り込まれたため「反対運動はどうなっているのか」と心配していた市民も大歓迎で、激励の意見が多数寄せられています。

反対署名にご協力を！

現在、原団地自治会、原町西団地自治会、西沼波東部自治会、湖上平地蔵町自治会では馬券売場誘致反対の署名活動に取り組んでいます。

馬券売場が出来るると被害を被るのは大人だけではありません。家族全員が署名していただくようお願いいたします。

また、自連協役員と反対する会の会員などが、市内各地で署名活動を進めています。毎週日曜日には署名統一行動として周辺の団地で各戸を訪問して署名をお願いいたします。もつともつと多くの皆さんが参加し

「チラシに書いてあるとおりで絶対反対です」「この四自治会だけでなく正法寺町自治会も一緒に反対して欲しい」「東中の近くにゲームセンターが出来て環境が悪くなったのに、さらに馬券売場ができるとうちにひどくなる」「国道三〇六号や中山道が混むので反対です」「私もインターネットで馬券を買っているが、馬券売場の誘致は困ります」「ご苦労ですが頑張ってください」「署名に協力したいので署名用紙を届けて欲しい」等、積極的に支持する声ばかりです。

統一行動以外の日には個々の自治会員や反対する会員が身の回りの人に署名をお願いしています。

原団地自治会のある女性は今までに二百六十筆の署名を集め、さらに頑張っています。また、反対する会にも、一人で二百筆を集めた会員がいます。

私たちは利権や義理を利用して署名を強要するのではなく、一軒一軒、一人一人によく説明して署名をお願いいたしますので、今後ともよろしくお願いします。

1991. 4. 25. 参議院 農林水産委員会(抜粋)

喜岡淳 (社民党)

中央競馬会が場外馬券売り場を設置する際いかなる基準で審査を行われるのでしょうか。

日本中央競馬会 理事長

地元との調整、具体的には、市の場合でございますと周辺町内会の同意、それから警察の協議、そのほか建築許可申請なりがパスしていること、こうしたことが必要な条件と考えております。

喜岡淳 (社民党)

町村に設置する場合は町村長の同意を得る。市につくる場合は関係町内会、まあいわゆる自治会となっておりますね。

農林水産省 畜産局長

町村の場合にはやはり当該町村を一体的なものとしてとらえられるということでございますので町村長ということでございますが、市の場合には、影響の及ぶところの町内会長ということにいたしておる次第でございます。

もちろん市なり市議会等々のそういう御意見等々について私ども十分承っておりますが、地元で受け入れ可能かどうかということの判断といたしましては、その当該施設があります地元の地域住民の方々ということで、その影響の及ぶ範囲での町内会長の同意ということにいたしておる次第でございます。